

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

六本木通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」と歩いてきました。

今回は「六本木通り」を歩きます。六本木通りは千代田区霞ヶ関二丁目の国会前交差点を起点に、渋谷区渋谷二丁目渋谷警察署前交差点に至る延長約6kmの道です。上には都心環状線の高速3号線が高架で通っています。写真右上は六本木通り起点の道路名標識（都道412号線です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[国会前交差点] 千代田区霞ヶ関二丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 桜田門駅

左下の写真は六本木通りの起点の国会前交差点です。正面は国会議事堂正門へ向かう道で右側は国会前洋式庭園、左側は国会前和式庭園です。内堀通りはお濠沿いに右へ進みます。六本木通りは国会前和式庭園を右側に見て左へ進みます。

す（写真下右）。



[外務省上交差点] 千代田区霞ヶ関二丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 霞が関駅

写真下左が外務省上交差点で左は「霞ヶ関坂」(写真下右)です。説明板には「中世の頃、奥州街道の関所「霞ヶ関」が置かれていたと言われ、景勝地としても古歌にもうたわれます。江戸時代には諸大名の屋敷が建ち並び、江戸土産の絵本や広重の錦絵にも描かれました。明治維新以降は外務省や司法省、海軍省などが建ち並ぶ中央官庁街となり、現在に続いています。」と記載。



[財務省上交差点] 千代田区霞ヶ関三丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 霞が関駅

写真下左は財務省上交差点で、左は「潮見坂」(写真下右)です。説明板には「中世の頃には日比谷公園あたりは入江であったといわれています。」

坂も当時はずっと高く眼下に海をのぞむことができ、それゆえに付けられた名でしょう。潮見坂・汐見坂の名は皇居東御苑をはじめほかに多くあります」と記載。



[内閣府下交差点] 千代田区霞ヶ関三丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 溜池山王駅



写真左は内閣府下交差点で、右側は内閣府の建物、左側の木立は首相公邸、首相官邸です。六本木通りは写真の右から来て直進して溜池方面へ向かいます。

[溜池交差点] 港区赤坂一丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 溜池山王駅

溜池交差点手前から港区に入ります。溜池交差点（写真下右）で外堀通り（都道 405 号線）と交差します。左へ行くと新橋方面、右へ行くと四谷方面です。



交差点手前左に「溜池発祥の碑」(写真下左)がありました。碑には『溜池は江戸時代のはじめ、江戸城の防備を兼ねた外堀兼用の上水源として作られた水道の発祥の地ともなり、徳川秀忠時代は鯉、鮒を放し、蓮を植えて上野不忍池に匹敵する江戸の名所となりました。徳川家光が遊泳したと伝えられ、江戸後期には日枝神社より赤坂四丁目へ通じる料金を取った銭取橋が架設され、「麦とろ家」数軒と出店で、にぎわったといわれました。明治8年より埋め立てに着手し明治44年には完成した。明治21年には赤坂溜池町が創立され、明治42年には市電が開通しました。溜池角の小松ビルは元 演伎座という芝居館として人気を煽り、昭和39年の東京オリンピック以後はビル街として発展しました』と記載。



溜池交差点を渡ると左側に超高層ビルが建ち並んでいます。写真下左は2017年9月オープンの超高層複合ビルの「赤坂インターシティA I R」、写真下右は2007年4月東京全日空ホテルから改称された「ANAインターコンチネンタル東京」です。

溜池交差点を渡ると左側に超高層ビルが建ち並んでいます。写真下左は2017年9月オープンの超高層複合ビルの「赤坂インターシティA I R」、写真下右は2007年4月東京全日空ホテルから改称された「ANAインターコンチネンタル東京」です。



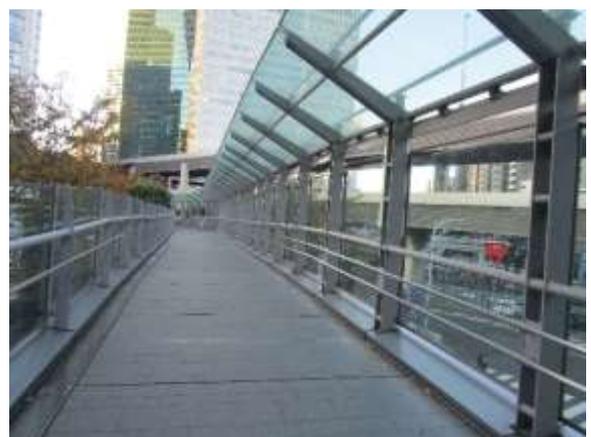
[六本木二丁目交差点] 港区六本木二丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 六本木一丁目駅

六本木二丁目交差点（写真下右）で都道 415 号線が左へと分岐します。古川橋・五反田方面へ行きます。六本木通り（都道 412 号線）は直進します。



この交差点は「アークヒルズフロントタワー」(写真下左) から洒落た歩道橋 (写真下右) で渡ります。アークヒルズフロントタワーは森ビルが 2011 年竣工。



歩道橋から振り返ると写真下左の光景、写真下右はこれから進む六本木通りです。高速都心環状線とは谷町ジャンクションで繋がっています。



[なだれ坂] 港区六本木三丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 六本木一丁目駅



「泉ガーデンタワー」(写真左)の前の道に「なだれ坂」の表示がありました。氷川社へ下る坂、相馬家屋敷へ下る坂、勾配強く土崩れがあったのでと諸説あります。

[寄席坂・市三坂] 港区六本木三丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 六本木一丁目駅

少し歩くと左に「寄席坂」の表示(写真下左)、坂の途中で明治から大正3年にかけて福井亭という寄席があったことから呼ばれたとのこと。六本木交差点に向かって歩く坂には「市三坂」(いちみざか)の表示(写真下右)、明治時代に開かれた坂で名主の名がついた。市兵衛町と松平三河守忠直邸のあった三河台町の間で頭文字をとったとのこと。



[六本木交差点] 港区六本木三丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 六本木駅

六本木交差点（写真下右）で外苑東通り（都道 319 号線）と交差します。
左へ行くと芝公園方面、右へ行くと東京ミッドタウン方面です。



今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里(約 2400 km)の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023年6月17日永平寺（現在の福井県永平寺町）（江戸深川から1939km）を通過、2023年6月22日福井（現在の福井県福井市）（江戸深川から1958km）に到着しました。八柳さんのコースシートには、次の「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

永平寺

五十町山に入って、永平寺に参拝する。ここはかの道元禅師の開祖のお寺である。

福井

この土地には等裁という古くから知られた隠者がいる。いつの年だったか、江戸にやって来て私を尋ねてくれたことがある。はるか十年以上も昔のことだ。今では老い衰えていることか、それとも死んでしまったろうかと、人に聞いてみると生きていて、家はどこそこだと教えてくれた。粗末な小家、二晩泊って、敦賀の港でも案内すると、はしゃぎたった。歌は詠んでいない。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝